

令和 4 年における宇都宮市の交通事故発生状況について

[事故統計関係資料提供 栃木県警察本部]

本市の交通事故発生状況について、第 11 次宇都宮市交通安全計画の重点視点に位置付けた「子どもや高校生」「高齢者」「自転車利用者」に関するデータを中心に掲載する。

1 宇都宮市の交通事故発生件数、死者数、重傷者数の推移

本市の交通事故発生件数、死者数は減少傾向にあり、令和 4 年は、発生件数 1,238 件、死者数は 4 人といずれも過去最小値となった。重傷者数は平成 30 年以降減少していたが、令和 4 年は 149 人と令和 3 年より増加し、統計がある平成 29 年以降 2 番目に多い人数になっている。

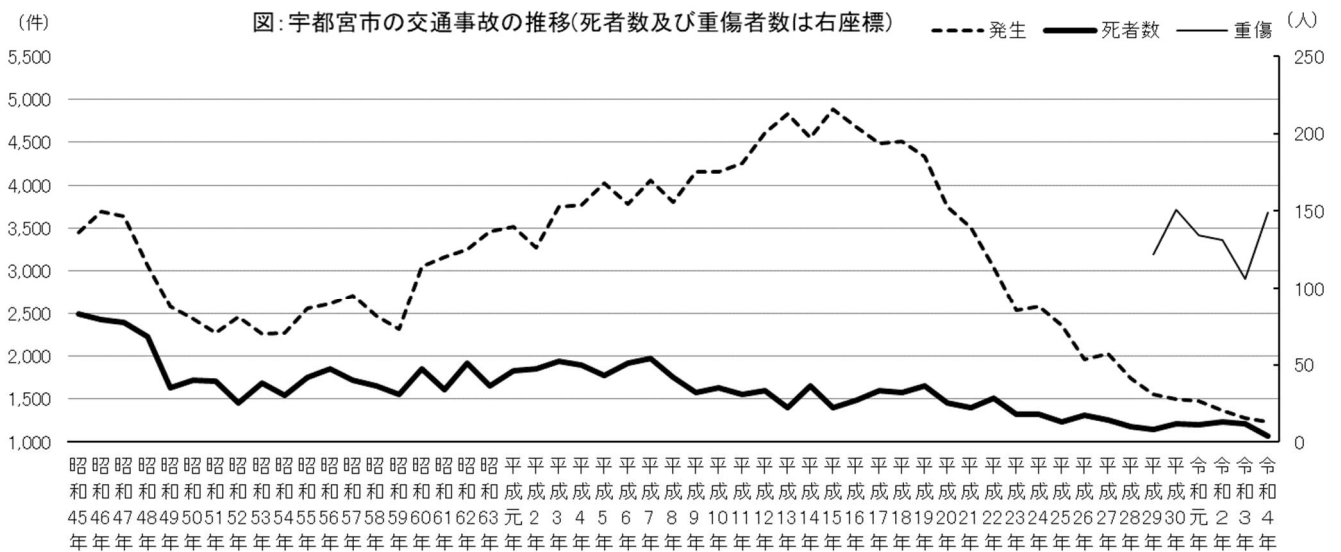
① 過去 5 年間の推移と第 11 次宇都宮市交通安全計画 (R3~7) の目標値

	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	目標値
発生件数	1,497 件 (▲51 件)	1,474 件 (▲23 件)	1,368 件 (▲106 件)	1,281 件 (▲87 件)	1,238 件 (▲43 件)	1,040 件 以下
死者数	12 人 (4 人)	11 人 (▲1 人)	13 人 (2 人)	12 人 (▲1 人)	4 人 (▲8 人)	8 人 以下
重傷者数	151 人 (29 人)	134 人 (▲17 人)	131 人 (▲3 人)	106 人 (▲25 人)	149 人 (33 人)	90 人 以下



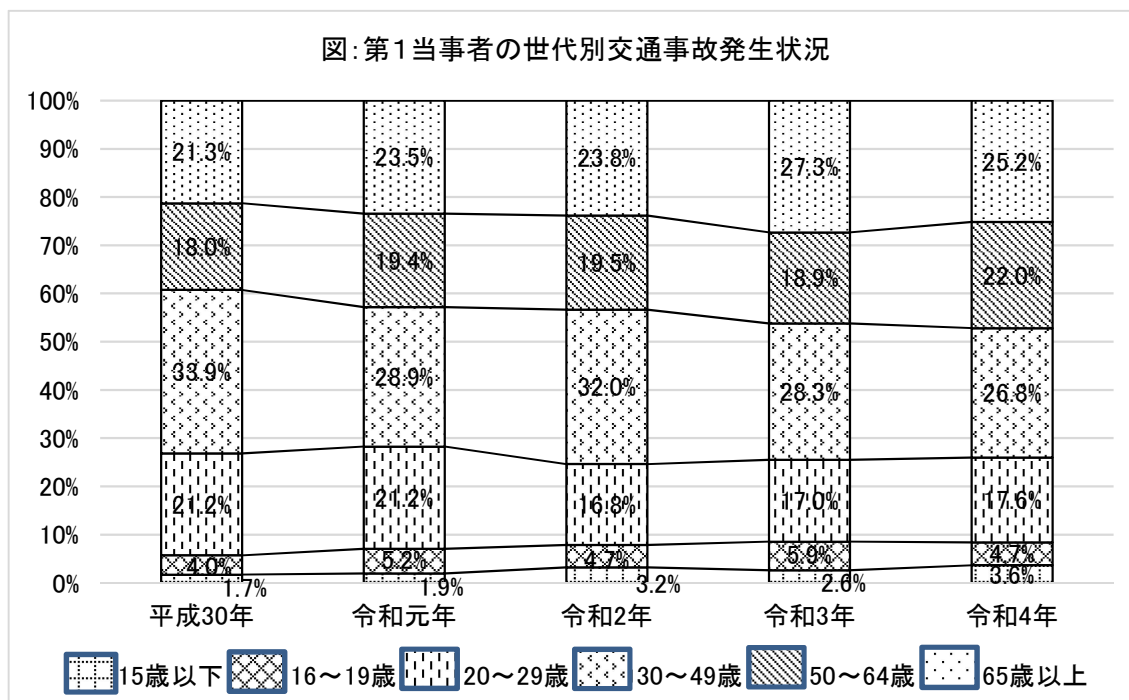
- ア 発生件数 1,238 件 (過去最小値), 過去最多 4,887 件 (H15) の約 4 分の 1
- イ 死者数 4 人 (過去最小値), 過去最多 83 人 (S45) の約 20 分の 1
- ウ 重傷者数 149 人

② 宇都宮市の交通事故の推移



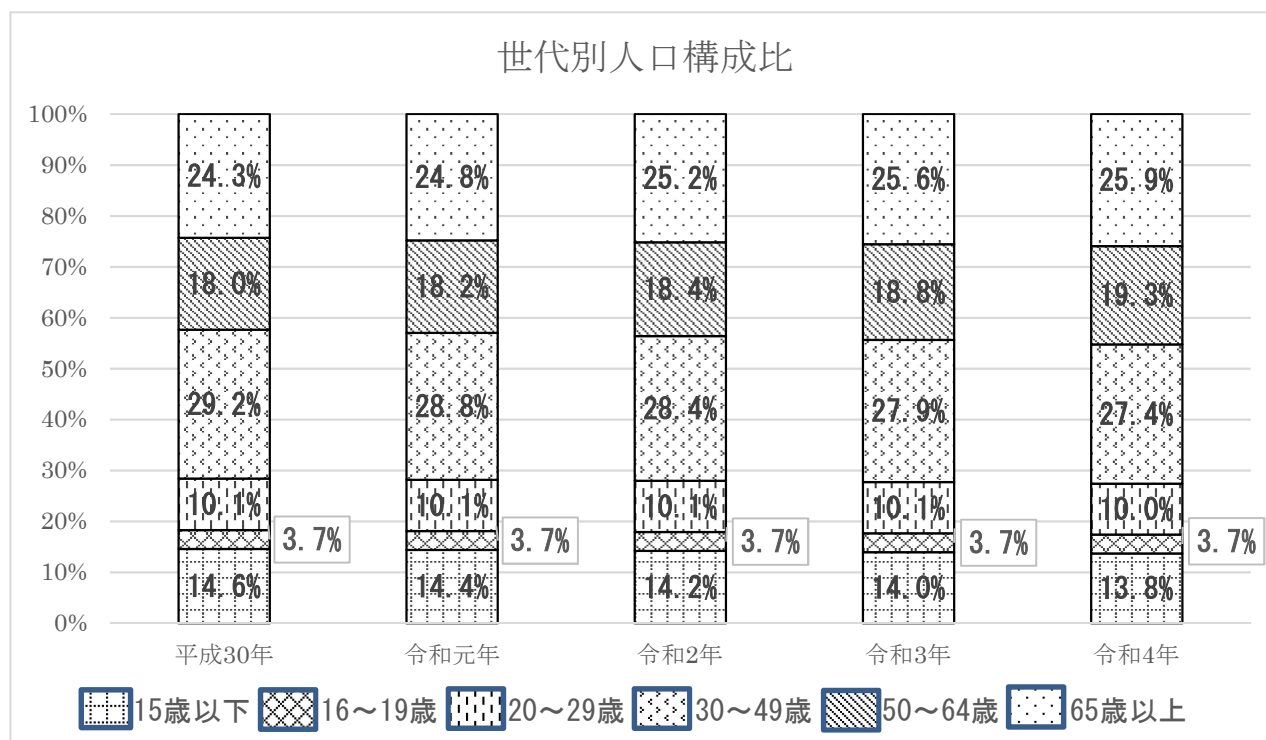
※ 重傷者数は第 11 次計画から目標値に設定されたことから、重傷者数は直近 6 箇年のデータのみ掲載

## 2 世代別交通事故発生状況



※ 第1当事者・・・交通事故に関係した者のうち、過失が最も重い者をいい、過失同等の場合は被害がより軽い者をいう。

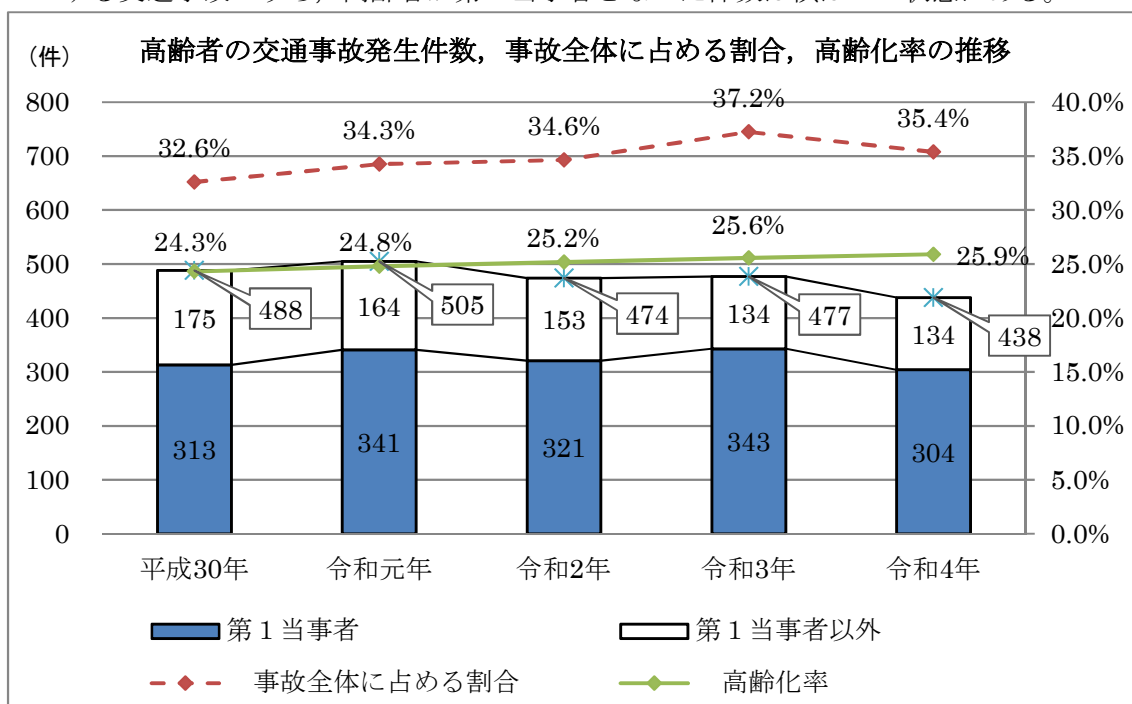
(参考) 世代別人口構成比 ※各年3月末時点



### 3 高齢者の交通事故発生状況

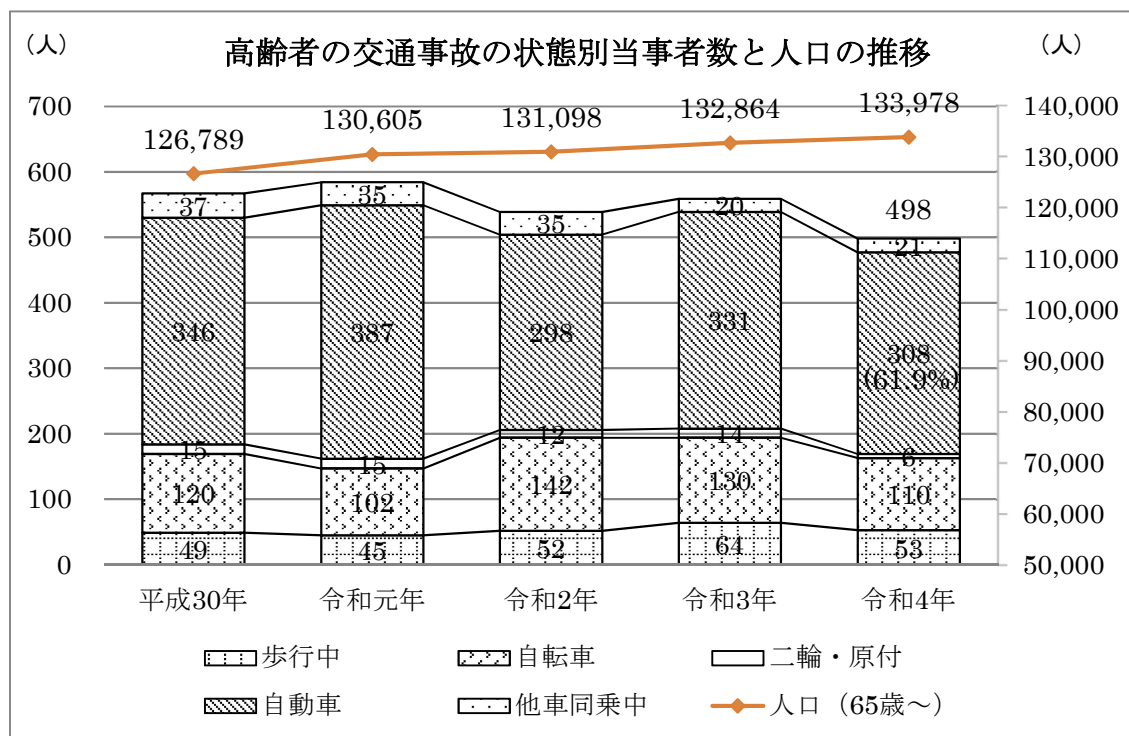
#### ① 高齢者の交通事故発生件数の推移

高齢者の関係する交通事故発生件数は令和3年より減少した。ただし、高齢者の関係する交通事故のうち、高齢者が第1当事者となった件数は横ばいの状態にある。



#### ② 高齢者の交通事故の状態別当事者数と人口の推移

高齢者の交通事故のうち、状態別では、自動車乗車中が61.9%、自転車乗車中が22.1%を占めている。

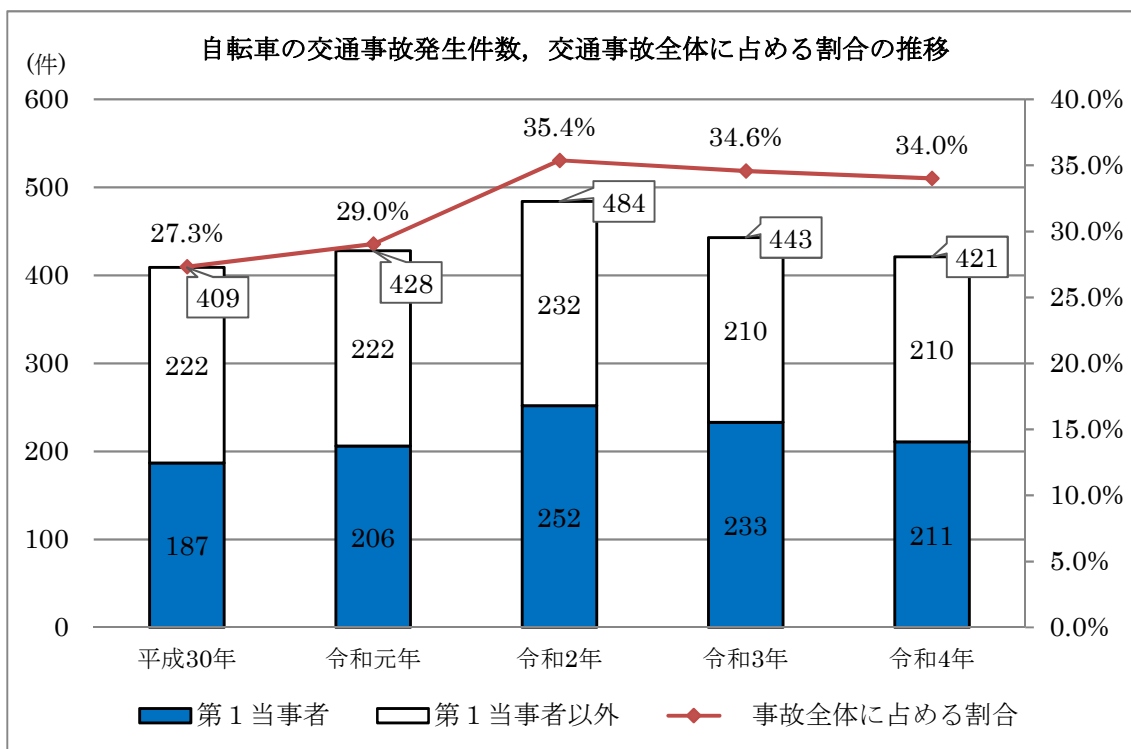


※ ①は発生件数，②は当事者数のため，数値は一致しない

#### 4 自転車の交通事故発生状況

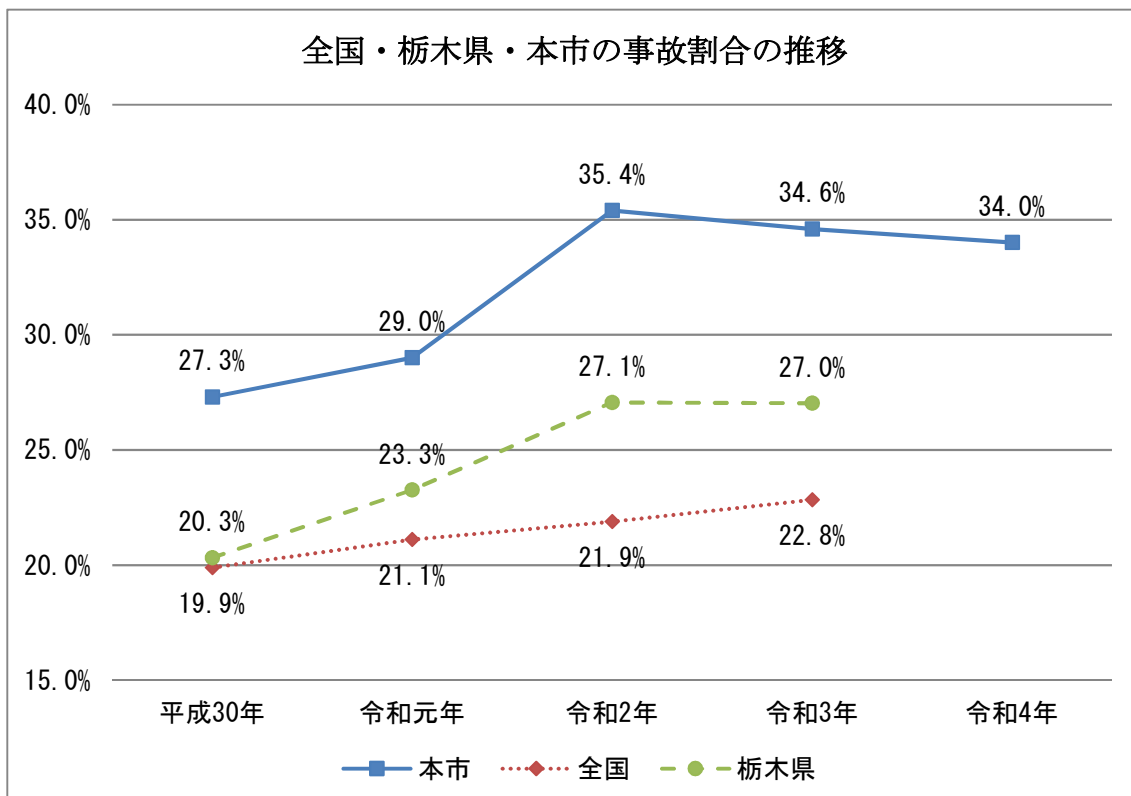
##### ① 自転車の交通事故発生件数の推移

自転車の交通事故発生件数は、令和2年以降減少傾向にあるが、交通事故全体に占める割合は3割を超えている。



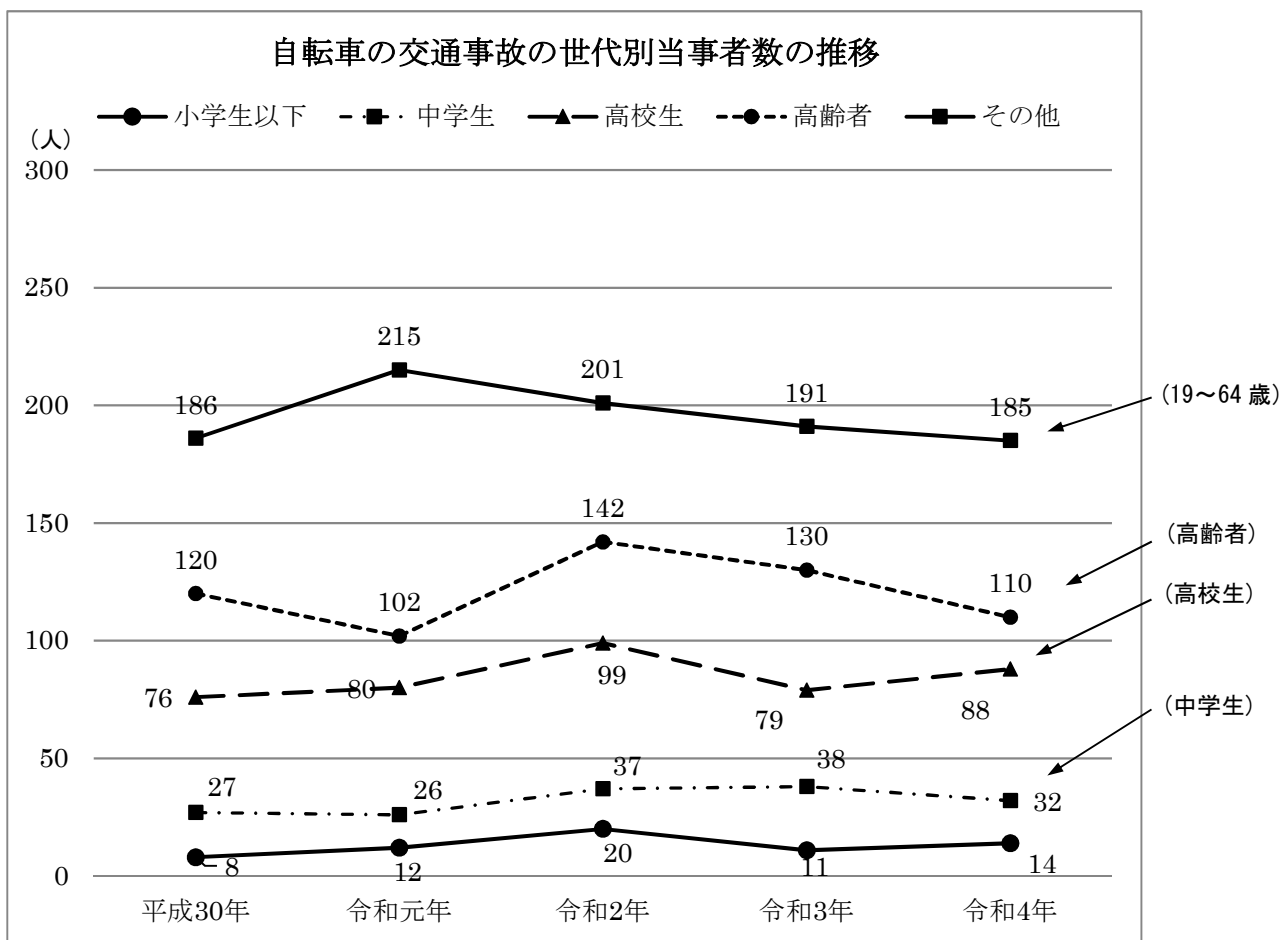
##### ② 自転車の交通事故の事故全体に占める割合の推移（国・県との比較）

本市の自転車の交通事故が、交通事故全体に占める割合は、国、県の割合に比べて高く、割合はそれぞれ増加傾向にある。



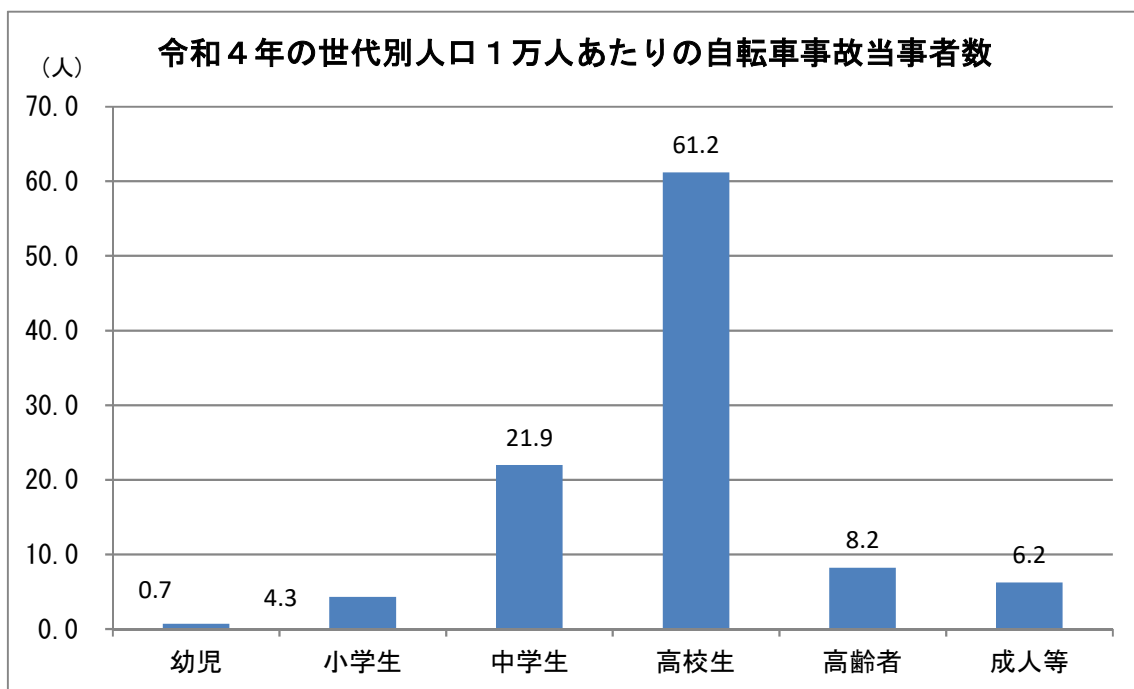
### ③ 自転車の交通事故の世代別当事者数の推移

自転車の交通事故当事者数は、19歳から64歳の年代が最も多い。



### ④ 令和4年の世代別人口1万人あたりの自転車事故当事者数

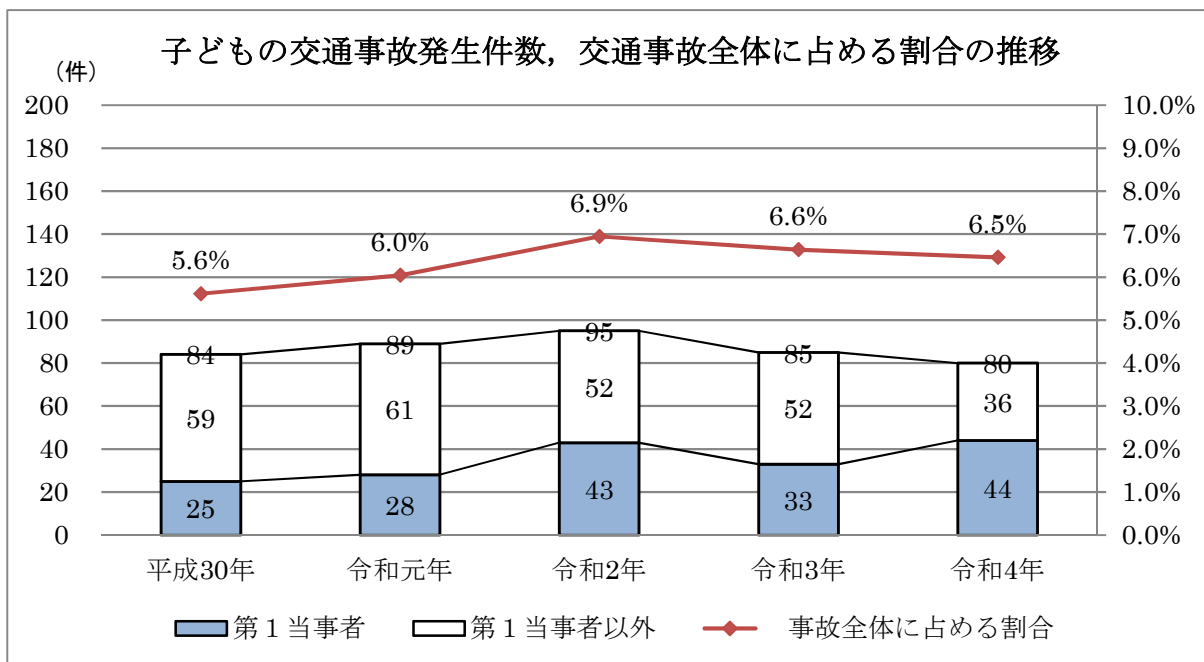
世代別人口1万人あたりの自転車事故当事者数を比較すると、高校生が突出して多く、次いで中学生となっている。



## 5 子どもの交通事故発生状況

### ① 子どもの交通事故発生件数の推移

子どもの交通事故発生件数は令和2年以降減少している。

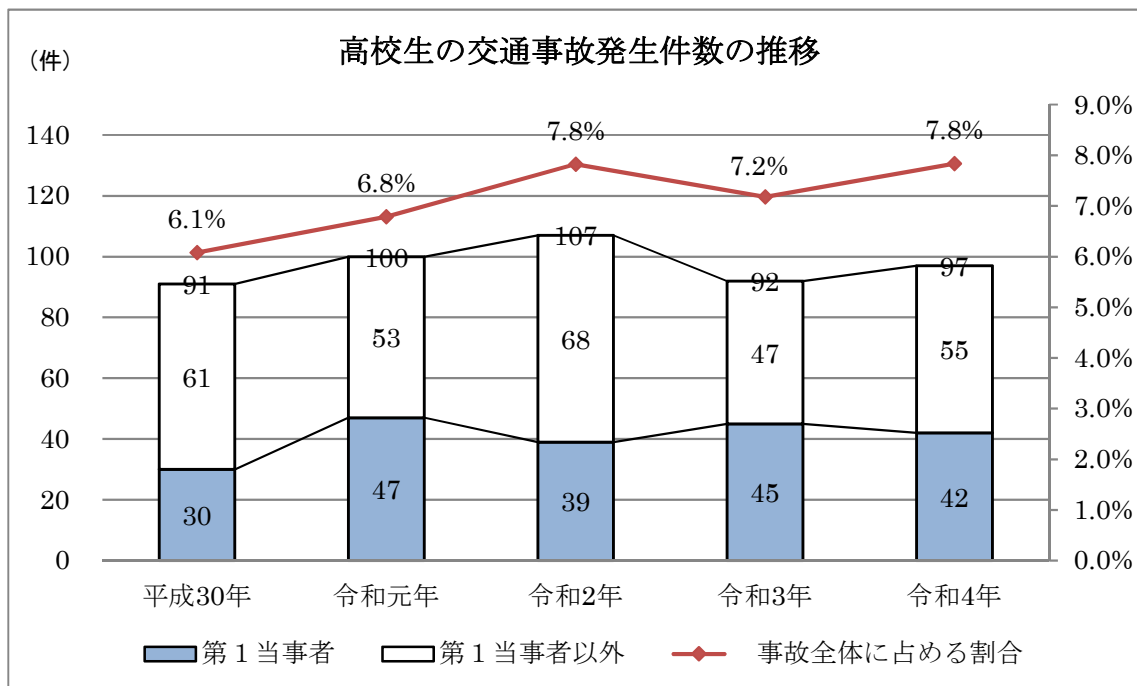


※ 子ども・・・中学生以下の者をいう。

## 6 高校生の交通事故発生状況

### ① 高校生の交通事故発生件数の推移

高校生の交通事故発生件数は、横ばいの状態にある。事故全体に占める割合は増加傾向にある。



## ② 高校生の交通事故の状態別当事者数と人口の推移

高校生の交通事故の状態別では自転車乗車中が88.9%を占めている。

